

尊聞行知

～聞くことを尊び、知るところを行う～

<先輩方より…>

「第 38 回全国道場対抗剣道大会 優勝」



昭和 58 年度卒業

洗心道場道場長 内田信之

令和 4 年 10 月 16 日に開催されました本大会におき初優勝することができました。各都道府県の予選を勝ち抜いた道場が優勝を目指し、師弟同行の理念のもと開催されました。

なぜ師弟同行かと申しますと、先鋒は小学生、次鋒は中学生、中堅は高校生以上 29 歳以下、副将は 30 歳以上、大将は 40 歳以上であるのが所以です。

今年洗心道場は、先鋒、次鋒は当然のこと中堅、副将、大将も小学生から大人になるまで洗心道場で修行している選手ですべて構成いたしました。

この純粹たる洗心道場のメンバーで優勝できたことは指導者として最高の喜びでした。これも中京大学体育学部武道学科で学んだこと、諸先輩や同級生、後輩、そして大学時代の恩師、近藤利雄先生、伊保清次先生、林 邦夫先生、堀山健治先生のおかげと深く感謝しております。

今後も、少年指導を通じて剣道発展のために、学んだことを寄与できればと思います。



「第31回JRグループ剣道大会優勝にあたって」



令和3年度卒 3段 木本 堅太

令和4年11月28日、東京武道館において行われました、第31回JRグループ剣道大会個人戦3段の部にて優勝することができました。これも、今までご指導してくださった先生方のおかげだと感謝の気持ちでいっぱいです。

私自身大学最後の年の全日本学生大会も新型コロナウイルスの影響により大会が開催されることなく悔しい思いをして学生剣道が終わりました。そこから約2年間その悔しい思いを糧に稽古に取り組んできました。今大会では優勝はできたものまだまだ力不足であり、課題が沢山見つけられました。

これからも目標に向かって感謝を忘れず精進してまいりますのでご指導よろしくお願ひ致します。

< 剣聖旗剣道大会… >

・小学生低学年の部 優勝 志道館学園



(先鋒) 序盤から激しい攻防が続き、加藤選手が塚本選手の手元が上がった機会を捉えて小手を先取。そのまま守り切り、一本勝ち。(次鋒) 激しく攻め合う様子が見られたが、両者取りきれずに引き分け。(中堅) 堀選手が積極的に攻めて試合中盤で面を先取。すぐさまもう一本を取った。(副将) 森本選手が、隙をついて引き胴を先取。その後、竹林選手の跳び込み面が決まり引き分け。(大将) 試合中盤で森島選手がいついたところを、三宅選手が跳び込み面を決めた。そのまま試合終了となり、勝負が決まった。

・小学生の部 優勝 志道館学園



(先鋒) 試合中盤、山下選手が面を先取。そのまま守り切り、一本勝ち。(次鋒) 激しい攻防を繰り広げたが、両者一步も譲らず引き分け。(中堅) 次鋒戦と同様に両者一步も譲らずに引き分け。(副将) 先鋒戦を取り返すべく、試合序盤多和田選手が面を先取。そのまま守り切り、一本勝ち。(大将) 序盤から激しい攻防が続き、櫻井選手が面に跳んだところを三宅選手が出小手を先取。そのまま一本を守り切り、勝負を決めた。

・中学生男子の部 優勝 京都太秦少年剣道部



(先鋒) 激しい攻防を繰り広げたが、両者譲らずに引き分け。(次鋒) お互い激しい攻防を繰り広げたが、両者譲らずに引き分け。(中堅) 試合序盤、谷選手の跳び込み面が決まった。そのまま一本勝ち。(副将) 谷選手が、石井選手の激しい攻めをしのぎ、粘り強さを見せた。

(大将) 試合開始直後、池嶋選手の小手面で先取。そのまま守り切り、代表戦へつなぐ。(代表戦) 大将同士の戦いとなった。6分を超える長期戦となったが、岩坪選手の小手が決まり、京都太秦が勝利した。

手の小手が決まり、京都太秦が勝利した。

・中学生女子の部 優勝 洗心道場



(先鋒) 開始直後、豊田選手が返し面を打ち先取。そのまま守り切り、一本勝ち。(次鋒) 試合後半、猪飼選手が攻め勝ち、相面を決めた。(中堅) 両者譲らぬ攻防を繰り広げたが、引き分け。(副将) 両者捨て身で出たところを榎野選手が面を決めた。そのまま守り切り、大将へつないだ。(大将) 小林選手が冷静な試合展開をし、小手を決めて勝利した。

・高校生男子の部 優勝 育英高等学校



(先鋒) お互い激しく打ち合い、大西選手が面を2本取り、勝利した。(次鋒) 激しい攻防であったが、一步も譲らず、両者引き分け。(中堅) 加藤選手が玄妙な機会に小手を先取した。(副将) 激しい打ち合いの中、両者一本ずつ面を取り、引き分け。(大将) 阿賀選手が、遠間から勢いよく飛び込み、面を決めた。

・高校生女子の部 優勝 守谷高等学校



(先鋒) お互い張り合った中で、今村選手が相手のいついたところを飛び込んで面を決めた。(次鋒) お互い激しい攻防を繰り広げたが、引き分け。(中堅) 五十嵐選手の激しい攻撃の末、試合中盤で遠間からの飛び込み面が決まった。(副将) 両者一步も譲らず、引き分け。(大将) 伊藤選手が相手の隙を見て胴を先取した。そのまま守り切ったが、守谷高校が優勝を決めた。



「お礼」

中京大学剣道部師範
堀山健治

中京大学を退職してちょうど1年が経ちました。あっという間の一年でした。

昨年8月には名古屋の名鉄ホテルにて盛大に退職祝賀会を催していただきました。コロナ禍の中にもかかわらず先生・先輩・同期・教え子など多くの皆様にお集まりいただきました。出席したいがコロナの関係で会社から止められていますとかコロナの濃厚接触者になって参加できないとか沢山の電話もいただきました。そして過分なる記念品料をいただきました。また、いくつかの卒業年度でのお祝いの品もいただきました。皆様には十分にお礼を申し上げることができていないことをお許してください。祝賀会の挨拶でも申し上げましたが、私は中京大学の卒業生であり、そして剣道部の監督であったことを本当に嬉しく思い感謝申し上げます。

また、2月には中京大学剣聖旗を私の退職記念大会としていただきました。今回の大会は記念大会ということで、高校・中学の部に加え小学生の部を加え開催しましたところ沢山のチームの皆さんに参加いただき盛大に開催することができました。実行委員会ははじめ中京大学剣道部の皆さんには大変なご尽力をいただきありがとうございました。

この剣聖旗大会の記念品である面手ぬぐいに起毛させていただきました。何を書こうかと散々迷いましたが、中京大学剣道部で過ごした50年の思いを「道心」という言葉で表しました。意味は修業する心・求める心ですが、字に含む意は、首：首をひねりああでもないこうでもないと考え、之：最初は細く弱々しく途中四苦八苦はあるけれど剣道の修業を続けることにより太く強くたくましく右肩上がりになっていき、心はちょっと控えめに、丸く穏やかに、そして剣道により強い心と豊かな心を修業する皆さんには作ってほしいという気持ちを表しました。



最後に、私の中京大学退職にあたり皆様から沢山の心遣いをいただきましたこと、あらためてお礼申し上げます。これからは中京大学剣道部師範として剣道部を見守りたいと思います。本当にありがとうございました。

「令和四年度 堀山健治教授 退職記念 中京大学剣聖旗」



審判長 昭和55年度卒業 教士八段 山村勝弘

副審判長 昭和58年度卒業 教士八段 爪橋智久 (高校生の部)

副審判長 昭和59年度卒業 教士八段 倉成健治 (中学生の部)

副審判長 昭和63年度卒業 教士八段 中村隆信 (小学生の部)

〔審判長講評〕

新型コロナウイルス感染症拡大により2年間中止となっていた「中京大学剣聖旗」が堀山先生の退職にあたる記念大会としてスカイホール豊田で盛大に開催されました。この大会も12年目を迎え、感染予防対策を講じながら、開催される運びとなりましたが、大会開催には多くの問題を解決しての決断であったと思われまます。ご尽力頂きました関係各位に感謝と御礼を申し上げます。

あわせて、堀山先生には中京大学剣道部での永年の功績に対しまして、あらためて御礼を申し上げるとともに健康に留意され、ますますご活躍されることをご祈念申し上げます。

大会は、記念大会にふさわしく、各試合場で熱戦が繰り広げられ、随所に好勝負、素晴らしい技の応酬が見られました。見事優勝の栄冠を勝ち取られたチームには御祝いを申し上げますとともに、惜しくも入賞を逸したチームにも健闘を称え、益々ご精進されることを期待しております。

さて、現在の試合は「新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合・審判法」により対応しておりますが、この試合・審判法により剣道内容が素晴らしく良くなったと評価をいただいています。しかし、まだまだ是正すべき内容が試合では多く見られます。剣道の試合にとって「勝負」の要素は重要であります。姑息な勝負、反則ギリギリの勝負ではなく真っ向勝負をする態度が大切であります。今後、本大会が試合者と審判員の共通理解のもと一体となって、全国の牽引者としてよりよい大会になることを念願しております。

最後になりましたが、大会関係者、審判員の先生方、会場に足を運んで頂いた皆様のお陰ですばらしい大会になりましたことに感謝申し上げ講評といたします。

宿願達成は、素直な心が大切である。

先達の教え（修行上の心構え・正しい技前）を素直に受け止め、反省し、工夫研鑽して、日頃の稽古から正しい剣道目指し、是正していく心が大成する道である。

< 剣友会総会報告… >

令和5年2月11日(土) 17:00～名鉄トヨタホテルにて剣友会総会が行われました。

多くの先輩方にご出席いただき、令和四年度の事業、会計報告を行い、令和四年度の事業計画、予算案、さらに会則の改定についてご審議いただき、すべてお認め頂きました。

総会の資料は以下の通りです。

第41回 剣友会総会

総会次第

- 1 開会の辞
- 2 会長挨拶
- 3 議長選出
- 4 議題

< 報告事項 >

- ① 令和4年 事業報告
- ② 令和4年 一般会計報告
- ③ 事業ならびに会計監査報告
- ④ 令和3年度 剣聖旗会計報告(開催中止)
- ⑤ 令和4年度 剣道部活動結果報告

< 審議事項 >

- ① 令和5年 事業計画案
- ② 令和5年 予算案
- ③ その他

全国学連剣友剣道大会参加にかかる激励費支給について

- 5 閉会の辞

祝賀会次第

- 1 会長挨拶
- 2 剣道部師範祝辞
- 3 記念品 贈呈 全国優勝 内田信之 先輩 全国道場対抗剣道大会
優勝監督
- 4 乾杯

剣友会入会式

- 1 歓迎の言葉
- 2 新会員 紹介
- 3 新会員 代表挨拶
- 4 記念品贈呈

<報告事項>

① 令和4年 剣友会事業報告

1 剣友会主催行事・事業

- | | | |
|---|---------------------|--------------|
| ① | 第40回 剣友会総会 | 4/1HPIにて報告 |
| ② | 新会員入会式 | 中止 |
| ③ | 剣友会事業・剣聖旗全国選抜剣道大会開催 | 中止 |
| ④ | 全国高等学校剣道選抜大会 出場校 激励 | 3月26～28日 |
| ⑤ | 剣友会誌(尊聞行知)34号発行 | 4月1日 |
| ⑥ | 東海学連OB大会 協賛 | 12月11日 |
| ⑦ | 剣友会役員会・剣聖旗準備委員会 | 12月24日 9月22日 |
| ⑧ | 稽古会 | 毎週土曜日 |

2 剣道部後援事業

- | | | |
|---|----------------|----------|
| ① | 春季全員合宿 (愛知県・) | 中止 |
| ② | 卒業生送別会 | 中止 |
| ③ | 西日本学生剣道大会 | 5月28日29日 |
| ④ | 全日本学生剣道選手権大会 | 7月2日 |
| | 全日本女子学生剣道選手権大会 | 7月3日 |
| ⑤ | 選手強化合宿 | 中止 |
| ⑥ | 全日本学生剣道優勝大会 | 10月30日 |
| ⑦ | 全日本女子学生剣道優勝大会 | 11月13日 |

② 令和4年 一般会計報告

令和4(2022)年1月1日～同年12月31日

1) 収入の部

摘要	予算案	金額	備考
1 前年繰越金	1,959,816	1,959,816	
2 年会費	250,000	605,000	121名分
3 支部会費	200,000	110,000	北海道・茨城・佐賀・静岡
4 新会員入会費・年会費	150,000	140,000	R3年度卒業生 14名分
5 雑収入	0	0	
6 利息	10	13	銀行利息
7 寄付	0	100,000	堀山健治先輩
合計	2,559,826	2,914,829	

2) 支出の部

摘要	予算案	金額	備考
1 会議費			
総会費	0	0	中止
剣友会役員会・剣聖旗準備委員会	50000	0	
2 事業費			
① 剣友会主催行事・事業			
剣聖旗大会	50000	0	中止
新会員入会式	50000	0	中止
剣友会HP維持管理費	20000	20,000	4月1日
東海学連OB大会 協賛金・登録費	25000	25,000	12月11日
稽古会	10000	0	
② 剣道部後援事業			
春季合宿	100000	0	中止
卒業生送別会	100000	15,180	中止(卒業記念品代)
西日本学生大会	50000	50,000	5月28日、29日
全日本学生・女子学生選手権	50000	50,000	7月2日、3日
選手強化合宿	50000	0	中止
全日本学生優勝大会	50000	50,000	10月30日
全日本女子学生優勝大会	50000	50,000	11月13日
3 慶弔費	100,000	10,000	8月27日(祝賀会生花)
4 通信費	200,000	3,780	役員会等案内
		13,126	退職記念誌郵送代金
		123,480	全会員宛総会案内
5 事務費	100,000	6,326	事務用品等
6 全国高校剣道選抜大会激励費	40,000	35,000	OB選抜出場校激励費(7校)
7 予備費	1,364,826	0	
8 事務局費	100,000	100,000	
合計	2,559,826	551,892	
収支合計		2,362,937	令和5年会計へ繰越

上記のとおり、令和4年中京大学剣友会会計の決算報告をいたします

令和4年12月19日 会計 山崎 嘉一

監査の結果、正確であったことを認めます

令和4年12月20日 監事 下村 直樹

石原 たまみ

審議事項

① 令和5年 事業計画案

剣友会行事・事業

1 第41回剣友会総会	2月11日
2 祝賀会	2月11日
3 新会員入会式	2月11日
4 剣聖旗全国選抜剣道大会	2月12日
5 全国高校剣道選抜大会 出場校激励	3月26～28日
6 剣友会誌35号発行	4月1日
7 東海学連OB大会 協賛	12月
8 稽古会	毎週土曜日
9 剣友会役員会・剣聖旗準備委員会	年各1回

剣道部後援事業

1 春季合宿	3月
2 卒業生送別会	3月
3 西日本学生・女子学生剣道大会	5月
4 全日本学生・女子学生剣道選手権大会	7月
5 選手強化合宿	8月
6 全日本学生剣道優勝大会	10月
7 全日本女子学生剣道優勝大会	11月
8 その他剣道部にかかわる行事	

② 令和5年 予算案

令和5(2023)年1月1日～同年12月31日
会計 山崎 嘉一

1) 収入の部

摘要	金額	備考
1 前年度繰越金	2,362,937	
2 年会費	250,000	50名分
3 支部会費	200,000	茨城、佐賀、静岡、近畿、北海道
4 新会員入会費・年会費	160,000	令和4年度卒業生 16人分
5 雑収入	0	
6 利息	10	銀行利息
7 寄付	0	
合計	2,972,947	

2) 支出の部

摘要	予算案	備考
1 会議費		
総会費	25,000	2月11日
役員会費・剣聖旗準備委員会	50,000	10月 12月
2 事業費		
① 剣友会主催行事・事業		
剣聖旗大会	50,000	2月12日
新会員入会式	50,000	2月11日
剣友会HP維持管理費	20,000	4月1日
東海学連剣友剣道大会協賛金	25,000	12月
全日本学連剣友剣道大会激励費	100,000	隔年12月
稽古会	10,000	
② 剣道部後援事業		
春季合宿	100,000	2月
卒業生送別会	100,000	3月
西日本大会	50,000	5月
全日本学生・女子学生選手権	50,000	7月
選手強化合宿	50,000	8月
全日本学生優勝大会	50,000	10月
全日本女子学生優勝大会	50,000	11月
3 慶弔費	100,000	
4 通信費	200,000	
5 事務費	100,000	
6 全国高校剣道選抜大会激励費	40,000	OB指導校選拔出場激励費
7 予備費	1,652,947	
8 事務局費	100,000	事務局手当
合計	2,972,947	
収支合計	0	

令和4年 剣友会新会員

	氏名	役職	出身校
1	鎌浦 光作	主将	育英
2	横山 玄	副主将	比叡山
3	岡田 優也	主務	滝川第二
4	菱田 和輝		三重
5	下垣 祐輔		奈良大附属
6	山本 翔太		大同大大同
7	鈴木 寛也		池新田
8	藤島 稜明		札幌第一
9	下森 智貴		清風
10	馬場 汰晟		市岐阜商業
11	滝本 悠高		桜丘
12	大久保 薫		須磨学園
13	藤川 みなみ		美濃加茂
14	新美 まお		愛産大三河
15	中田 沙矢		三重
16	石原 実莉		大和田国際

③ その他

全国学連剣友剣道大会参加にかかる激励費の支給について

2023/1/22 BUMB東京スポーツ文化館において開催され、東海地区から女子2チーム(3人制)が出場されました。

12/24に開催された役員会です承され、支出いたしました。(60,000円)

出場される先輩方を激励する。 → 予算として計上する。(100,000円)

<年会費振込のお願い…>

2022年度の年会費「5000円」を未納の先輩方は

下記口座までお振込みいただきますようご協力お願いいたします。

名古屋銀行 豊田浄水支店 店番号 249
普通口座 3372854
口座名義 中京大学剣友会 代表 村瀬 直樹

<支部代表、事務局の先輩へ…>

支部を運営されています代表の先輩はお手数ですが名簿を事務局までご報告ください。
TEL・Mail 等で事務局 山崎までご連絡いただければ、書式を添付 Mail にてお送りいたします。